

2024年12月5日発行 会報第1216号

今週のプログラム

(2024年 12月5日 第1216回例会)

ファイヤーサイド ミーティング

7月～11月例会評価等

担当：藤田 芳浩幹事

次週のプログラム

(2024年 12月12日 第1217回例会)

ファイヤーサイド ミーティング

1月～5月例会企画について

担当：藤田 芳浩幹事

第1215回例会 (2024年 11月28日) の記録

<会長の時間>

高尾 修会長

【大塚国際美術館…一握りの砂】

2024年11月26日～27日の一泊二日で、徳島県に旅行に行きました。

私の車で、友人夫妻と家内と家内の友人の計5人の旅行でした。

あいにく11月26日は鳴門海峡が突風と大雨で前が見えず、ハンドルの制御が大変でした。

しかし、今回の旅行の目的である「大塚国際美術館」に、行くことが出来ました。

「大塚国際美術館」は、大塚グループ創立75周年記念として設立されました。初代館長として大塚正士氏が就任されましたが、美術館に必要な美術陶板に着手されたのは、大塚化学の技術部長と技術課長の二人が大塚正士社長に「一握りの砂」を机の上に盛り上げたことから始まります。

この砂は、コンクリートの原料として採取し、大阪や神戸に陸揚げし、建築用としてトン幾らかで販売していたそうです。二人は、この白砂をタイルに加工して1枚いくらかで販売すると非常に価値のある商品になり、徳島県のためにもなりますので、県知事に白砂の採取許可を貰って欲しいと直訴されました。大塚社長は、その熱意を汲み知事に折衝し許可を貰ったそうです。

そういう経緯の後、小さなタイルから始め、ついには1メートルのタイルが生産できるようになり、歪みや割れが出来ない陶板政策に成功しました。しかし、昭和48年は、石油ショックで石油価格が高騰し、ビルの建設が全面停止になりました。そこで、「陶板」に絵を描いて美術品の方に力を入れることになりました。まずは、尾形光琳の「燕子花 (かきつばた)」を作りました。1メートル×3メートルの大きな陶板が、無傷で焼くことが出来たのです。

また、より完成度の高い美術品を目指したそうです。ピカソやミロなど、有名画家を陶磁器にして原寸第に複製されました。展示作品も1,000点を超え、陳列も素晴らしいものがあります。

「一握りの砂」が、大塚国際美術館の設立の基本となったということです。

<出席報告>**水本 徹 SAA**

会員数 17 名（内出席免除会員 1 名）

本日の出席者数 11 名

（内出席免除会員 1 名・名誉会員 0 名）

本日の出席率 64.71%

10 月のホームクラブ出席率 63.64%

11 月のホームクラブ出席率 61.54%

<ロータリーソング>**全会員****♪学 生 時 代♪**

鷲の絡まるチャペルで 祈りを捧げた日

夢多かりしあの頃の 想い出を辿れば

懐かしい友の顔が 一人一人浮かぶ

重いカバンを抱えて 通ったあの道

雨の日の 図書館や ノートとインクの匂い

枯葉の散る窓辺 学生時代

<幹事報告>**藤田 芳浩 幹事**

1. 国連支援募金事務局より、過日送金しました 1 万円に対するお礼状が届きましたのでご報告させていただきます。
2. 今週 11 月 29 日・30 日に地区大会が開催されます。
出席される方は、過日配布致しました名札のご持参をお忘れなくお願い致します。
3. クリスマス例会 回覧出欠表に、引き続きご記入をよろしくお願い致します。
4. 来週 12 月 5 日もゴルフレストランにて昼例会です。

<SAA報告>**水本 徹 SAA****※ラオス基金**

水島会員 今日はサムイです。

相原会員 コメントなし

※ロータリー財団

高尾会員 コメントなし

※米山記念奨学会

水本会員 先週の欠席 申し訳ありませんでした。

藤田会員 次週も「昼例会」です。宜しく！！

山本(雅)会員・小山会員・高尾会員 コメントなし

※メイプル基金

山本会員 クリスマス例会 皆様よろしく御願ひします。

藤田会員 本日「クラブの活性化」のスタートです。

小山会員 コメントなし

「クラブ活性化を 具体的にスタートしましょう！」

藤田 芳浩 幹事

従来から「クラブ活性化のための活動」として、必要な事務局の閉鎖に伴いまして、先日 11 月 23 日に事務局の現状を確認して参りました。

当日は、高尾 修会長と渡邊 了允会員と共に下記の内容でチェック致しました。

事務局内の保管品・備品チェック

1. 今後も保管・活用すべきと判断されたもの

- *過去の表彰状・盾・記念品等
- *例会で使用可能或いは今後活用できる備品関係
- *その他（数量が多い・寄付・分配した方が有意義な物）

2. 今後使用・活用が見込まれず、処分が妥当と判断されたもの

- *所有者が、判明していて返却すべきもの
- *クラブが所有している物・所有者が不明な物で、処分・売却が妥当と判断されたもの

3. 保管・活用するか・処分が妥当か判断が分かれる物

4. 12月19日「クリスマス例会」でご参加の皆様・ロータリアンのご家族及びロータリアンに有効に使っていただくために、お土産等でお持ち帰りいただく物。

◆確認者—高尾会長・渡邊会員・藤田

以上の観点から本日は、実際に事務局を訪問して頂きまして、現在の状況をご理解して頂く事をお願い致します。

すでに、12月19日開催予定の「クリスマス例会」でも活用できるように様々な品物を新しくラッピングしておりますので、プレゼントとしてお持ち帰り頂けると思います。

*今後の例会のご出欠に付きまして、LINEや使いやすいアプリを使用して効率的な方法で、ご連絡する事になりますので、宜しくご理解願います。

